

PowerPoint を使用した プレゼン動画作成マニュアル

動作環境

1. OS およびアプリケーション

Windows : PowerPoint 2010, 2013, 1016, 2019, Office 365

Mac : PowerPoint for Mac 2019, Office 365

2. マイク（音声入力ができる環境）

内蔵マイクでの録音も可能ですが、周囲の音声（ノイズ）も録音されてしまう為、ヘッドセットマイクなど、外付けマイクの使用を推奨します。

Windows 共通-マイクの確認方法

- ①スタートをクリック、
- ②設定をクリック、
- ③システムをクリック、
- ④サウンドをクリック、
- ⑤入力デバイスが登録されているか確認、
- ⑥マイクのテストで反応することを確認する。



Windows –PowerPoint 2019・Office 365

- ①「スライドショー」タブをクリック、②「スライドショーの記録」をクリック、
- ③「先頭から記録」をクリック、④「記録」をクリックし、動画の録音を行う。

※1 内蔵カメラが有効な場合はカメラ映像も記録されるため、OFFにしてください。



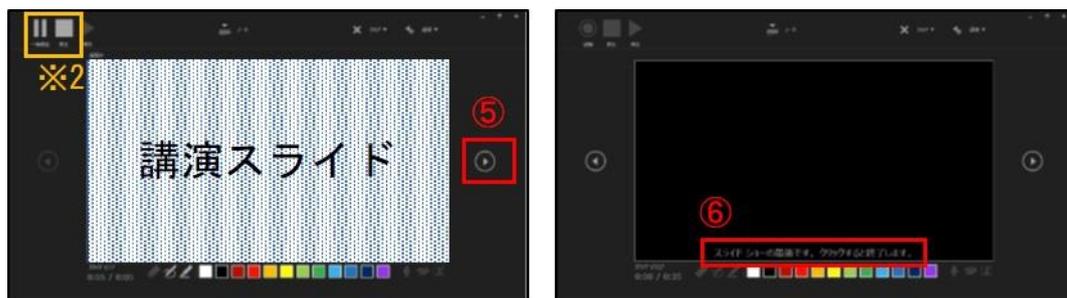
- ⑤スライドを進めながらマイクに向かって録音する。

スライド切り替え時に音声途切れるため、表示後は一息おいてから録音してください。

※2 「記録の停止」をクリックするとそこまでの記録が残ります。

「記録の一時停止」をクリックすると記録が一時停止となります。

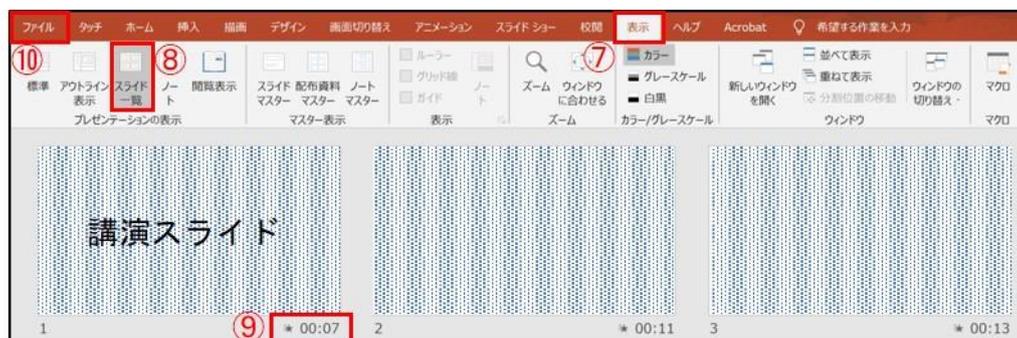
- ⑥スライドの最後まで進めると自動的に録音が停止し、もう1枚進めると編集画面に戻る。



- ⑦「表示」タブをクリック、⑧「スライド一覧」をクリック、⑨各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを確認し、新しく名前を付けて保存する。

再度ファイルを開き、スライドショーにして音声やスライドのタイミング等問題がないか確認ください。問題があった場合は、該当箇所から再度記録を行ってください。

- ⑩「ファイル」タブをクリックし、書き出しに進む。



- ⑪ 「エクスポート」をクリック、⑫ 「ビデオの作成」をクリック。
 (または、リボンの「録音/録画」タブで、「ビデオにエクスポート」をクリックします)
- ⑬ 「ビデオの作成」見出しの最初のドロップダウンボックスをクリック、
- ⑭ ビデオ解像度「1280×720」を選択する。
- ⑮ 「ビデオの作成」見出しの2番目のドロップダウンボックスをクリック、
- ⑯ 「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択する。
- ⑰ 「ビデオの作成」をクリック。



- ⑱ 「名前を付けて保存」というウィンドウでファイル名を指定し、ファイル形式で「MP4 形式」を選択する。
- ⑲ 「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。
 動画作成の進捗は、右下に表示されます。20 分のスライドショーから HD 画質 (1280×720) の動画を作成するのに約 20 分かかります。

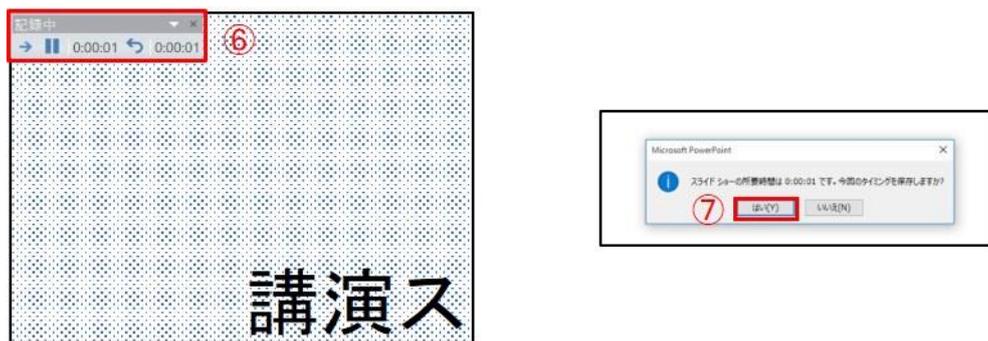


Windows –PowerPoint 2013・2016

- ① 「スライドショー」タブをクリック、② 「スライドショーの記録」をクリック、
- ③ 「先頭から記録」をクリック、④ 「スライドとアニメーションのタイミング」、「ナレーション、インク、レーザーポインター」の両方にチェックが入っていることを確認する。
- ⑤ 「記録の開始」をクリックして録音を開始する。



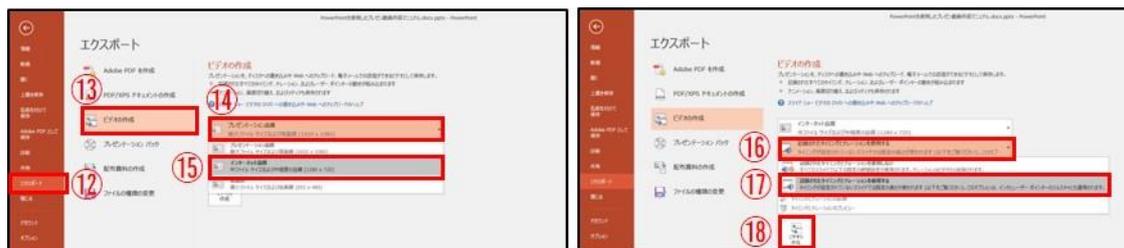
- ⑥ 左上の「記録中」を確認し、スライドを進めながらマイクに向かって録音する。
スライド切り替え時に音声が入り切れるため、表示後は一息おいてから録音してください。
- ⑦ スライドの最後まで進め、スライドショーのタイミングを保存する。



- ⑧ 「表示」タブをクリック、⑨ 「スライド一覧」をクリック、⑩ 各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを確認し、新しく名前を付けて保存する。
再度ファイルを開き、スライドショーにして音声やスライドのタイミング等問題がないか確認ください。問題があった場合は、該当箇所から再度記録を行ってください。
- ⑪ 「ファイル」タブをクリックし、書き出しに進む。



- ⑫ 「エクスポート」をクリック、⑬ 「ビデオの作成」をクリック。
(または、リボンの「録音/録画」タブで、「ビデオにエクスポート」をクリックします)
- ⑭ 「ビデオの作成」見出しの最初のドロップダウンボックスをクリック、
- ⑮ ビデオ解像度「1280×720」を選択する。
- ⑯ 「ビデオの作成」見出しの2番目のドロップダウンボックスをクリック、
- ⑰ 「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択する。
- ⑱ 「ビデオの作成」をクリック。



- ⑲ 「名前を付けて保存」というウィンドウでファイル名を指定し、ファイル形式で「MP4 形式」を選択する。
- ⑳ 「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。
動画作成の進捗は、右下に表示されます。20分のスライドショーからHD画質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。

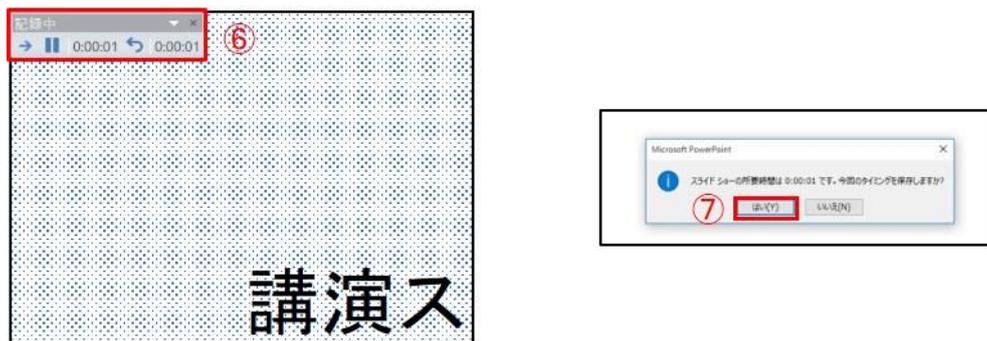


Windows –PowerPoint 2010

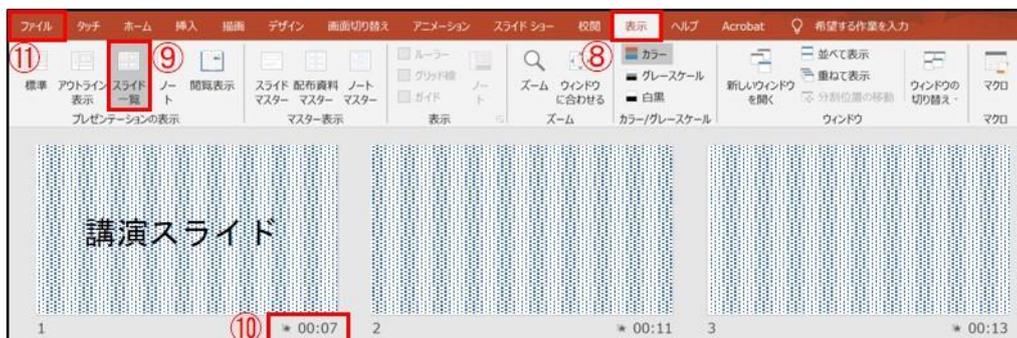
- ①「スライドショー」タブをクリック、②「スライドショーの記録」をクリック、
- ③「先頭から録音を開始」をクリック、④「スライドとアニメーションのタイミング」、「ナレーションとレーザーポインター」の両方にチェックが入っていることを確認する。
- ⑤「記録の開始」をクリックして録音を開始する。



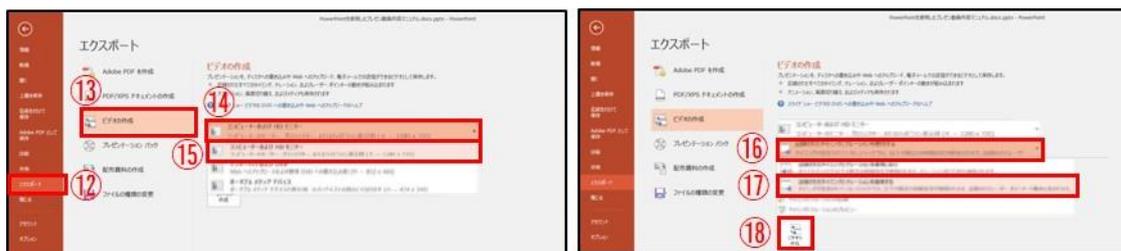
- ⑥左上の「記録中」を確認し、スライドを進めながらマイクに向かって録音する。
スライド切り替え時に音声途切れるため、表示後は一息おいてから録音してください。
- ⑦スライドの最後まで進め、スライドショーのタイミングを保存する。



- ⑧「表示」タブをクリック、⑨「スライド一覧」をクリック、⑩各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを確認し、新しく名前を付けて保存する。
再度ファイルを開き、スライドショーにして音声やスライドのタイミング等問題がないか確認ください。問題があった場合は、該当箇所から再度記録を行ってください。
- ⑪「ファイル」タブをクリックし、書き出しに進む。



- ⑫ 「エクスポート」をクリック、⑬ 「ビデオの作成」をクリック。
 (または、リボンの「録音/録画」タブで、「ビデオにエクスポート」をクリックします)
- ⑭ 「ビデオの作成」見出しの最初のドロップダウンボックスをクリック、
- ⑮ ビデオ解像度「1280×720」を選択する。
- ⑯ 「ビデオの作成」見出しの2番目のドロップダウンボックスをクリック、
- ⑰ 「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択する。
- ⑱ 「ビデオの作成」をクリック。



- ⑲ 「名前を付けて保存」というウィンドウでファイル名を指定し、ファイル形式で「MP4 形式」を選択する。
- ⑳ 「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。
 動画作成の進捗は、右下に表示されます。20分のスライドショーからHD画質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。



Mac –PowerPoint for Mac 2019

マイクの確認

- ①システム環境設定、②サウンド、③入力をクリック、
- ④入力デバイスが登録されていることを確認、
- ⑤「選択した機器の設定」では試しに発声し、反応することを確認する。



PowerPoint でのマイク入力の確認

- ⑥システム環境設定、⑦セキュリティーとプライバシー、⑧プライバシー、
- ⑨マイクを選択し、⑩PowerPointの項にチェックが入っていることを確認する。



PowerPointでの録音

- ① PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されていることを確認。
 - ② 「スライドショー」をクリック、③ 「スライドショーの記録」をクリック、
 - ④ 自動的に画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録音が始まるので、通常通り、スライドショーを行ってください。
- ※メニューから、ペン、蛍光ペン、ポインターを使用しても記録されません
スライド切り替え時に音声が入切れるため、表示後は一息おいてから録音してください。
前のスライドに戻ると、戻ったスライドの録音を上書きされます。



- ⑥ スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリック、
- ⑦ 「今回のタイミングを保存しますか？」という質問が現れるので「はい」を選択する。



- ⑧ ファイルをクリック、⑨ エクスポートをクリック、⑩ ウィンドウ上でファイル名、保存先を選択する。
- ⑪ ファイル形式で「MP4形式」を選択する。



- ⑫ 「インターネット品質（ビデオ解像度 1280×720）」を選択、
- ⑬ 「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認、
- ⑭ エクスポートをクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。

